

## リーディングスキルへの理解を深めるために

## なぜ、リーディングスキルが必要なのか

- (1) 東ロボくんプロジェクト（新井紀子先生）から
- 今のAI技術ではロボットは東大に入れない
  - それは、AIは意味を理解できないから AI＝計算機
  - でもMARCHと言われる大学には合格点
- (2) リーディングスキルの6分野とAI
- 係り受け解析・照応解決 AIは得意
  - 同義文判定・推論 AIは苦手
  - イメージ同定・具体例同定 AIでは難しい

## 正確に読み取る力とは

私は「汎用的読解力」と呼んでいますが、算数、理科、社会などすべての教科で求められる力です。国語の心情読解の場合、作者の思いを読み取るといった、いわゆる行間を読む力を養い、解釈に幅があります。でも、算数、理科、社会でいろいろな解釈があったら困りますよね。文章に書いてある事実を正確に読み取る。それが汎用的読解力です。（国立情報学研究所 新井紀子教授）

## 子どもたちの読解力が低下すると

- ▲ 主語と述語の関連性が理解できず、指示語が何を指すのかもわからなければ、教科書を読んで理解することも、問題文の意味を理解して解くこともできません。
- ▲ 2つの文の意味が同じかどうかわからなければ、模範解答を見て答え合わせなどできません。
- ▲ 基本知識や常識が身につけてなく論理的に判断できなければ、新たな知識を獲得することなどできません。
- ▲ 図表やグラフを読み取れない、言葉の意味が分からない、定義を理解できない、では教科書も読めないし、授業の内容も理解できません。

## “読めばわかる”は通用しない

- × 「教科書をしっかり読みなさい」「問題をしっかり読みなさい」「教科書に書いてあるでしょ」  
この指導から脱却する必要があります。

## リーディングスキルをどう授業改善につなげるか

- (1) 生徒のつまずきを突き止める
- 生徒が読めそうにない語句はないか
  - 意味を理解できなさそうな文はないか
  - 親和性の低い語句はないか
- (2) そのつまずきへの対応策を講じる
- 子どもの会話に足りない部分を補う質問
- (3) リーディングスキルを高めるための特別な授業をしなくてもいい
- あくまでも各教科の資質・能力を育てることが目標
  - リーディングスキルは、そのための手段
  - リーディングスキルと自力解決・振り返りとの合わせ技で授業改善を進める